

木材需給動向について (全国)

2025年4月
林野庁

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」

木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計データや、林野庁の施策に関するトピックス、セミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>

(QRコードからもアクセスできます。)



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

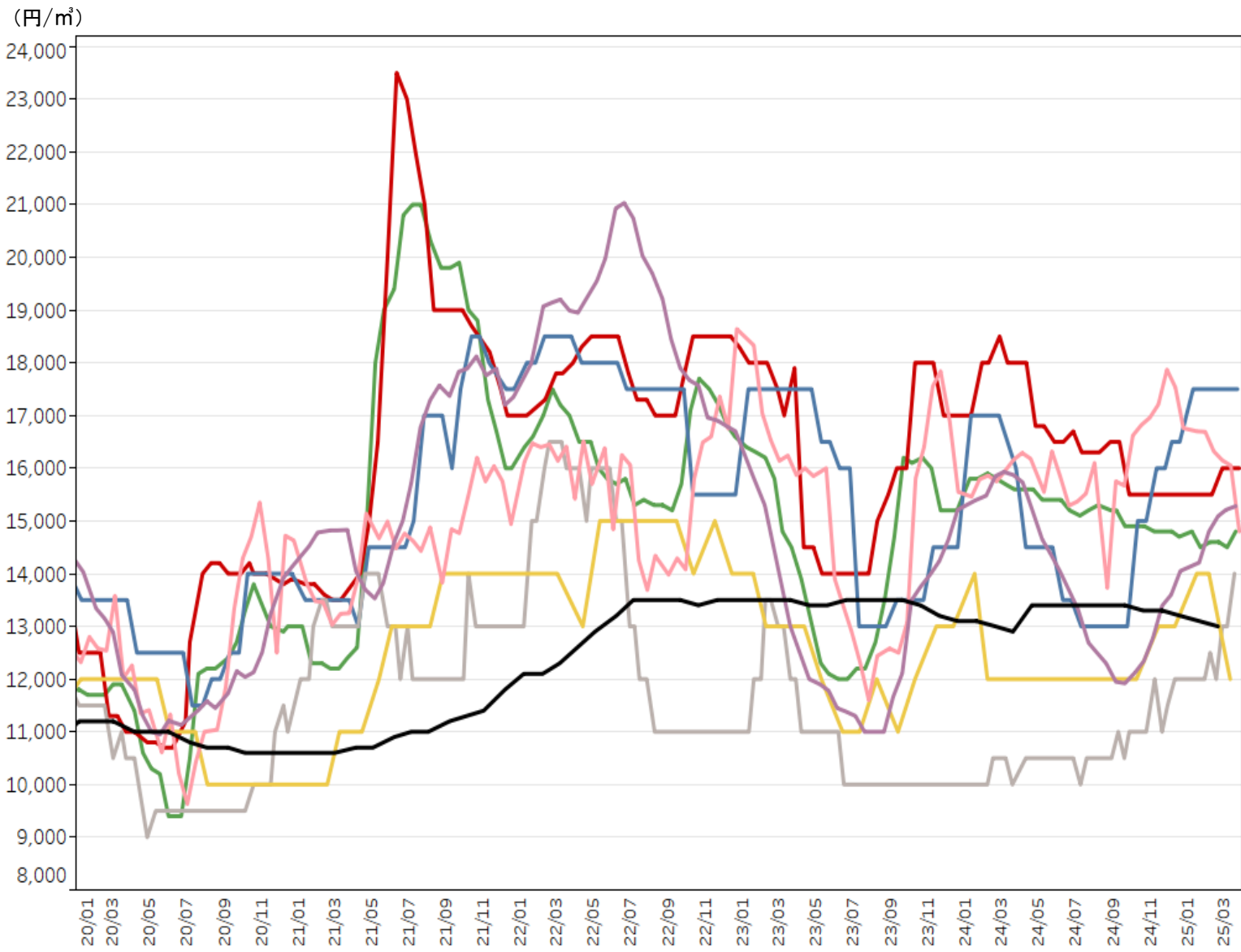
(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~17,500円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,000	13,000	100%
秋田県	15,280	15,870	96%
栃木県	14,800	16,160	92%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	14,000	10,000	140%
高知県	17,500	16,000	109%
熊本県	16,000	18,000	89%
宮崎県	14,800	15,600	95%

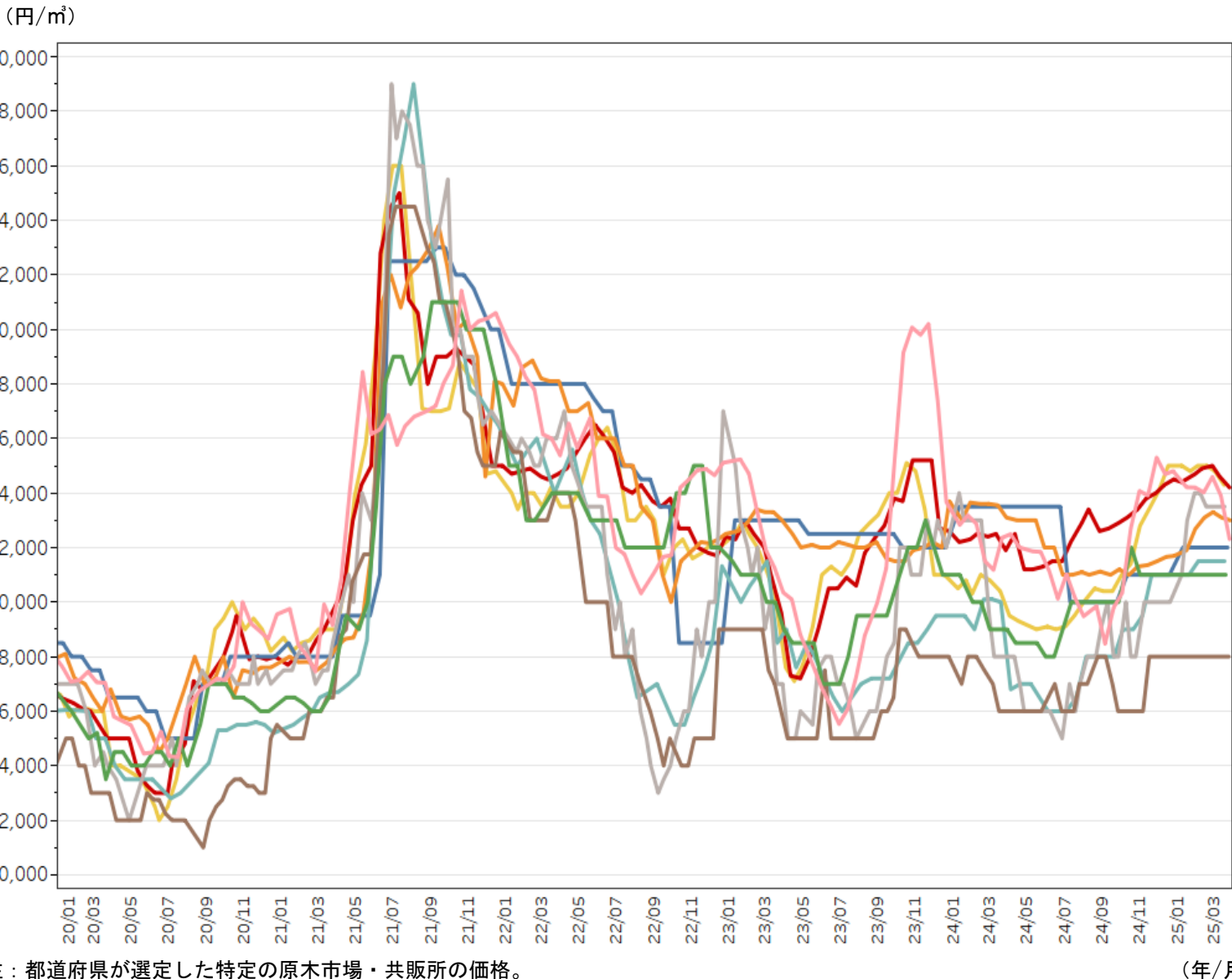
※北海道については2月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については3月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～24,300円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

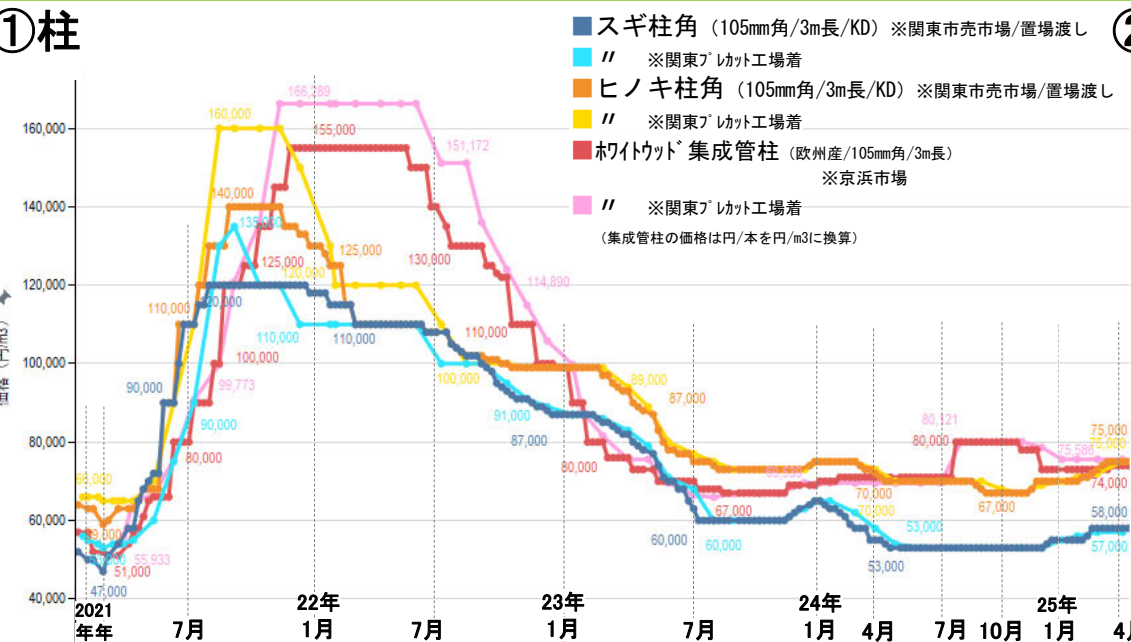
都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	22,310	22,360	100%
静岡県	21,000	19,000	111%
兵庫県	18,000	16,000	113%
岡山県	23,500	18,000	131%
広島県	21,500	20,000	108%
愛媛県	23,000	23,100	100%
高知県	22,000	23,500	94%
熊本県	24,200	21,900	111%
大分県	24,300	20,400	119%

※各県3月の値を使用。

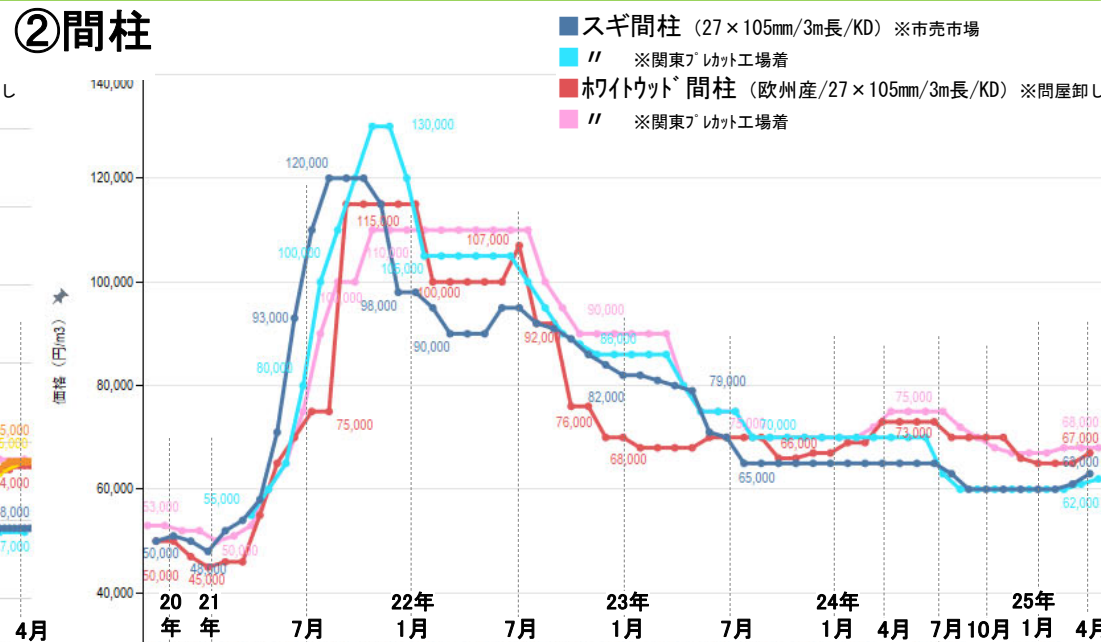
(2) 製品価格

令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、国産材の柱の価格は令和6(2024)年4月に入り横ばいで推移していたが12月から上昇傾向。構造用合板の価格は、令和7(2025)年1月まで下落を続けた後、上昇傾向。

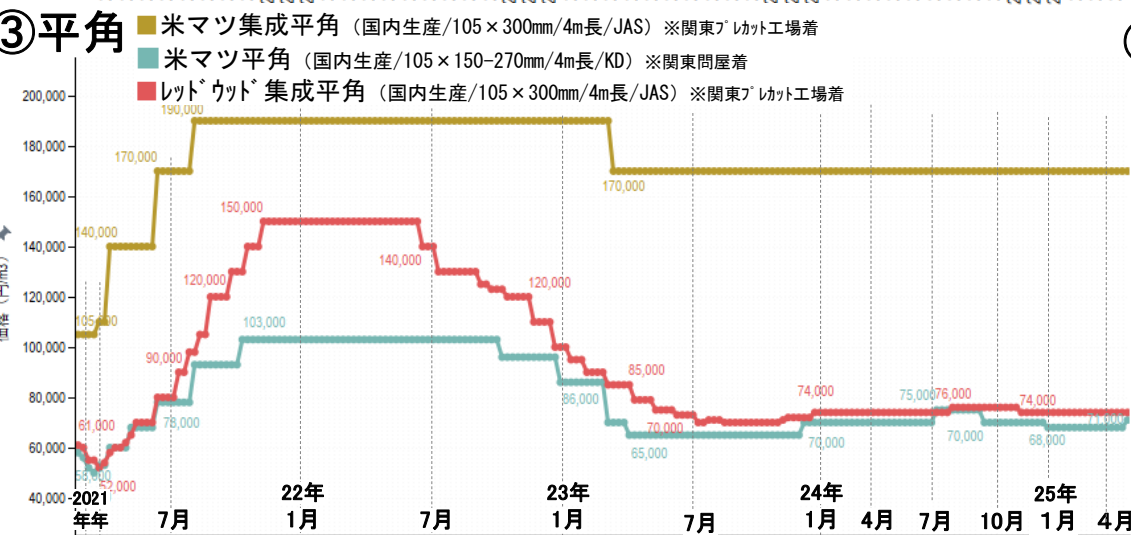
①柱



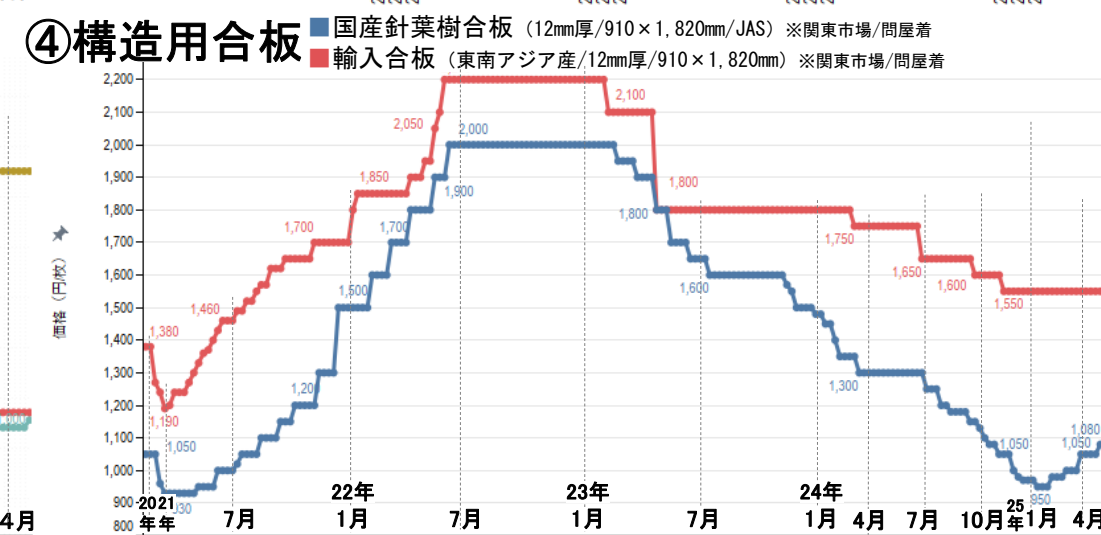
②間柱



③平角



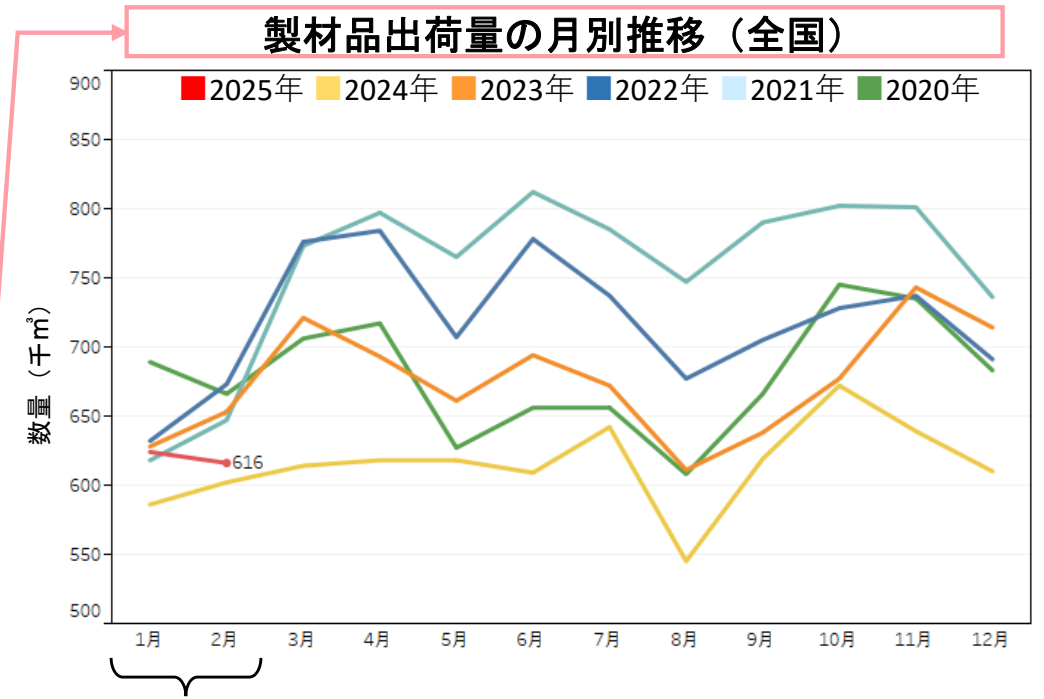
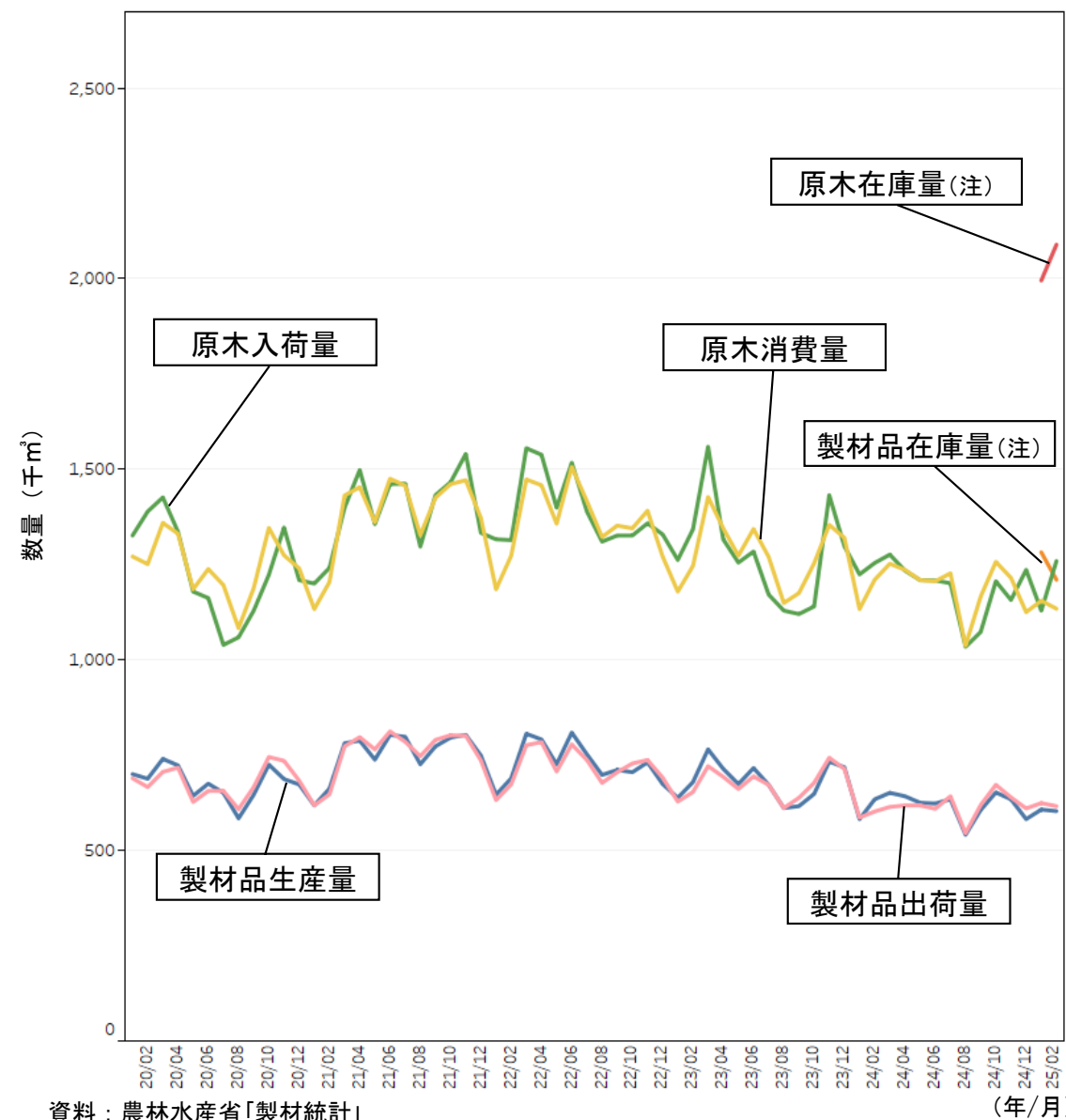
④構造用合板



2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2025年2月の原木の入荷量は2,388千 m^3 （前年比96%）。
- 同様に製材品の出荷量は1,240千 m^3 （前年比104%）。

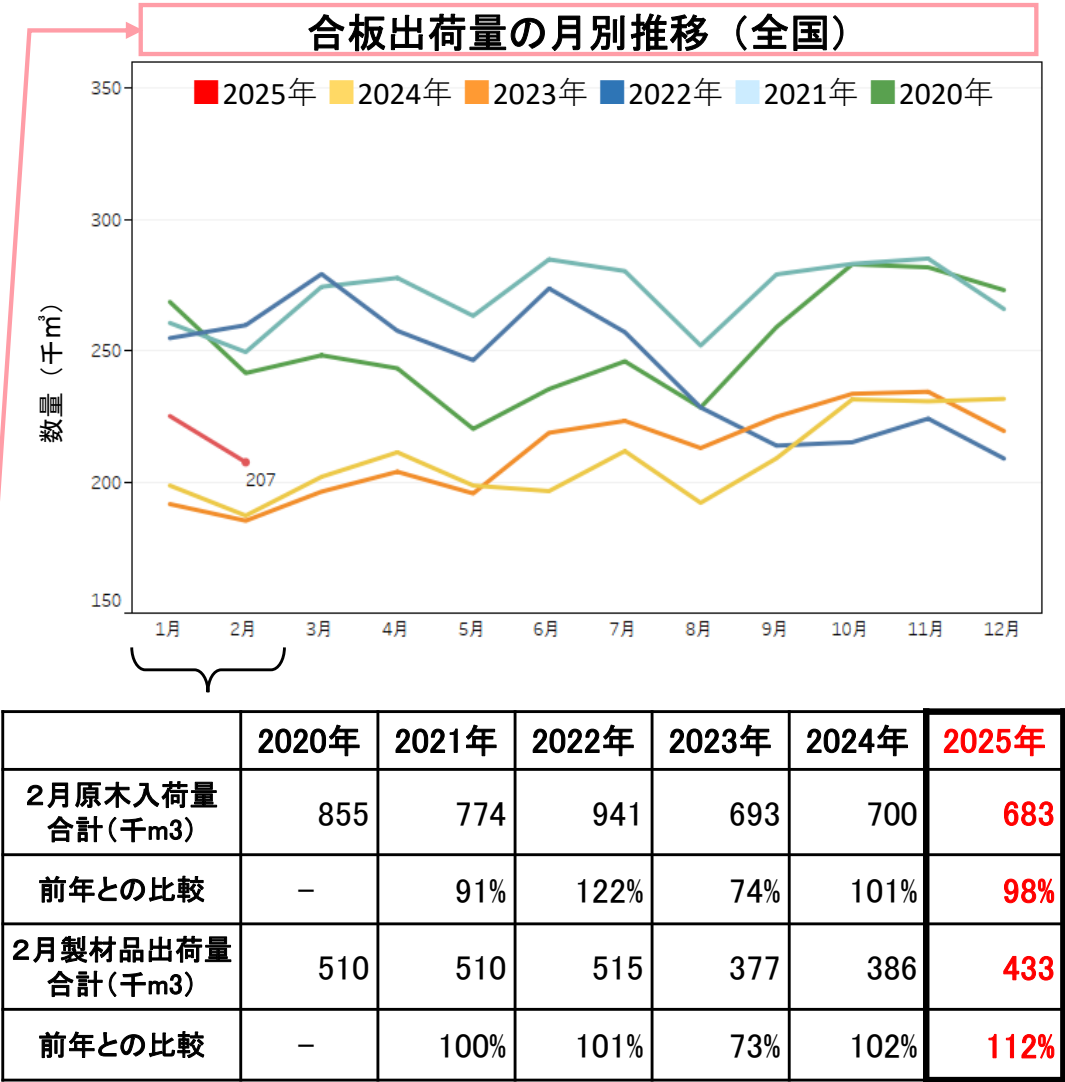
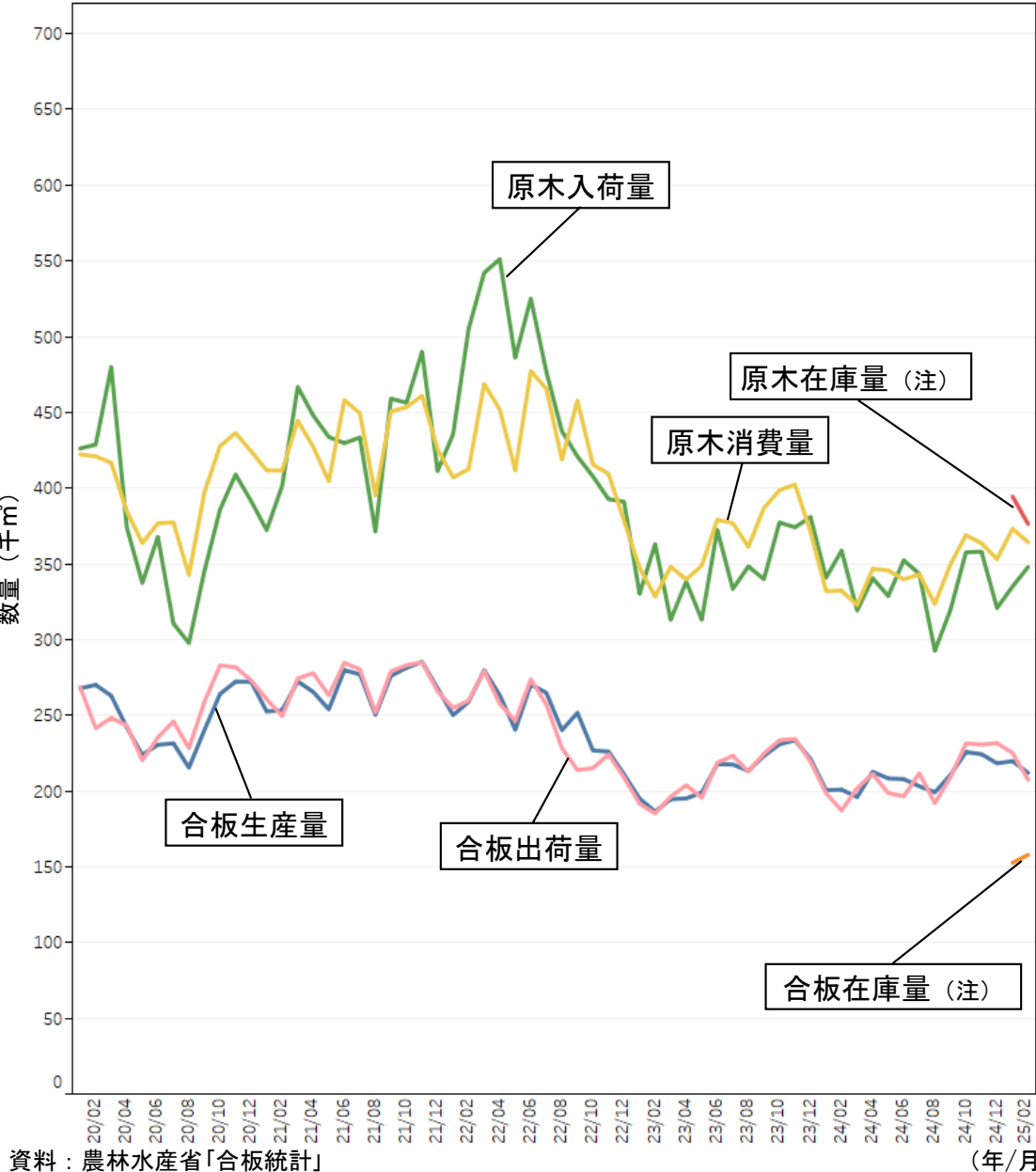


	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
2月原木入荷量 合計 (千 m^3)	2,715	2,441	2,630	2,604	2,478	2,388
前年との比較	—	90%	108%	99%	95%	96%
2月製材品出荷量 合計 (千 m^3)	1,355	1,265	1,305	1,281	1,188	1,240
前年との比較	—	93%	103%	98%	93%	104%

資料：農林水産省「製材統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

(2) 合板（全国）

- 2025年2月の原木の入荷量は683千m³（前年比98%）。
- 同様に合板の出荷量は433千m³（前年比112%）。

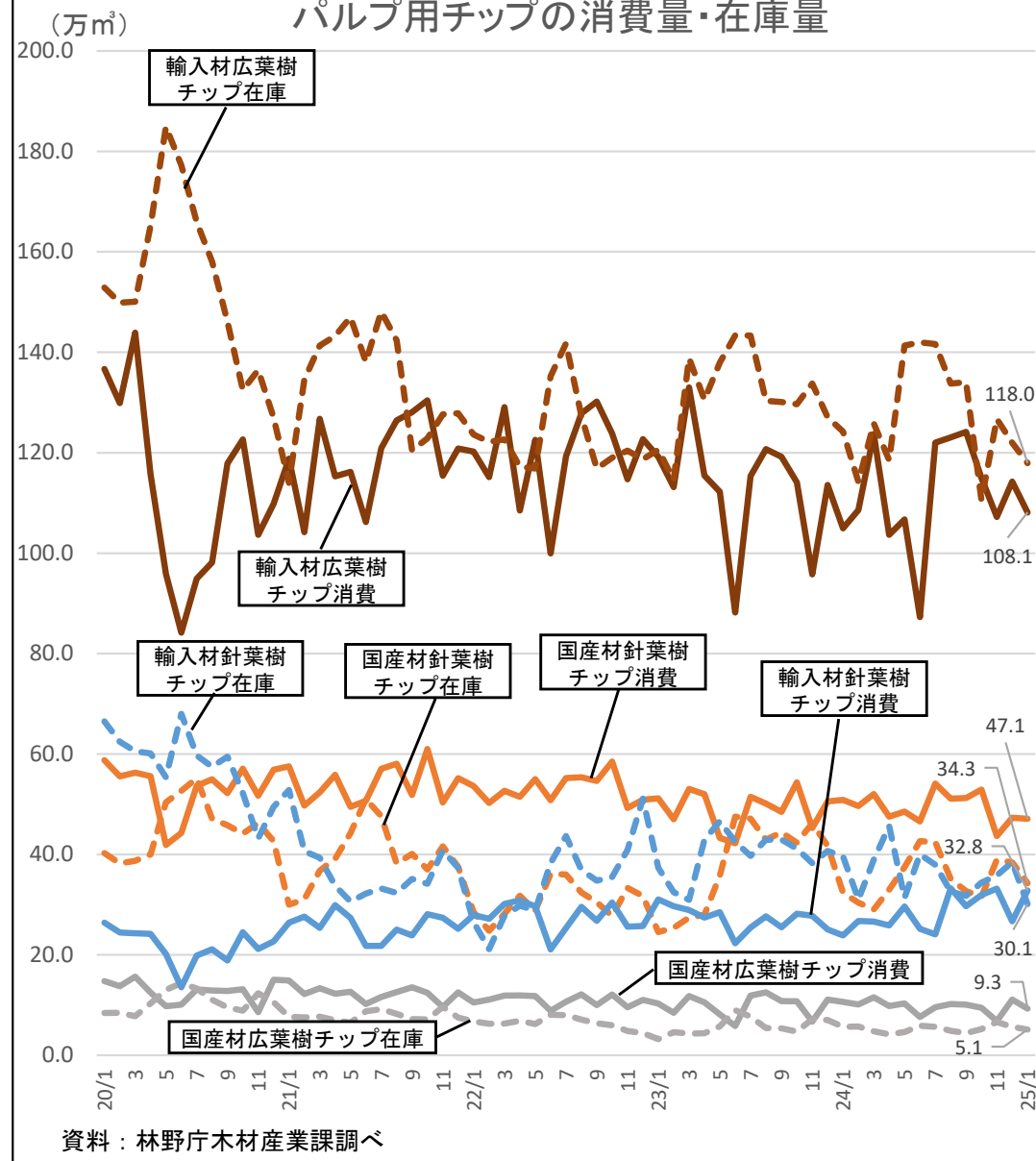


資料：農林水産省「合板統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

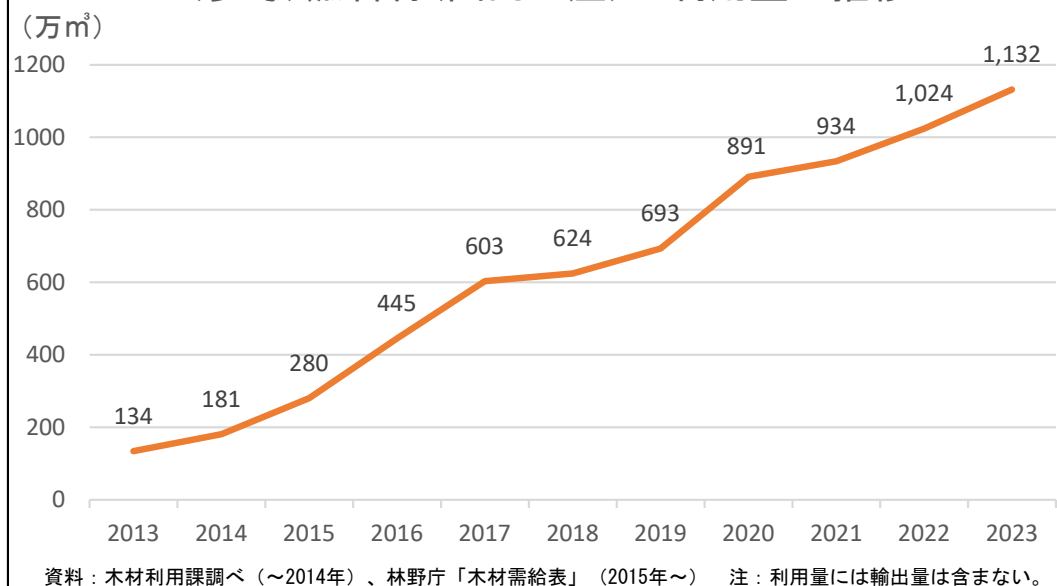
(3) チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、2025年1月の輸入材広葉樹チップの消費量は108.1万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は47.1万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。

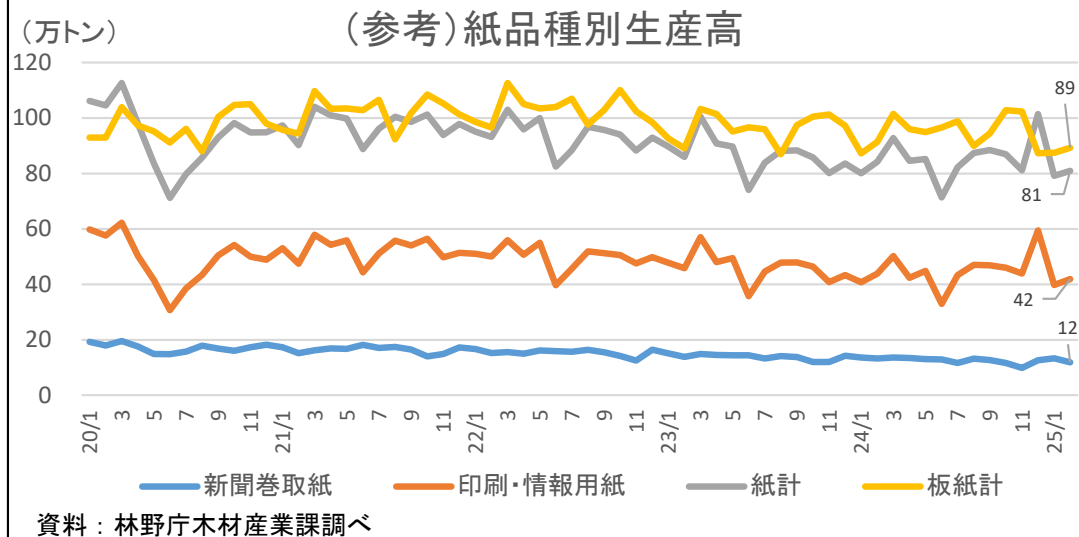
パルプ用チップの消費量・在庫量



(参考)燃料材(国内生産)の利用量の推移

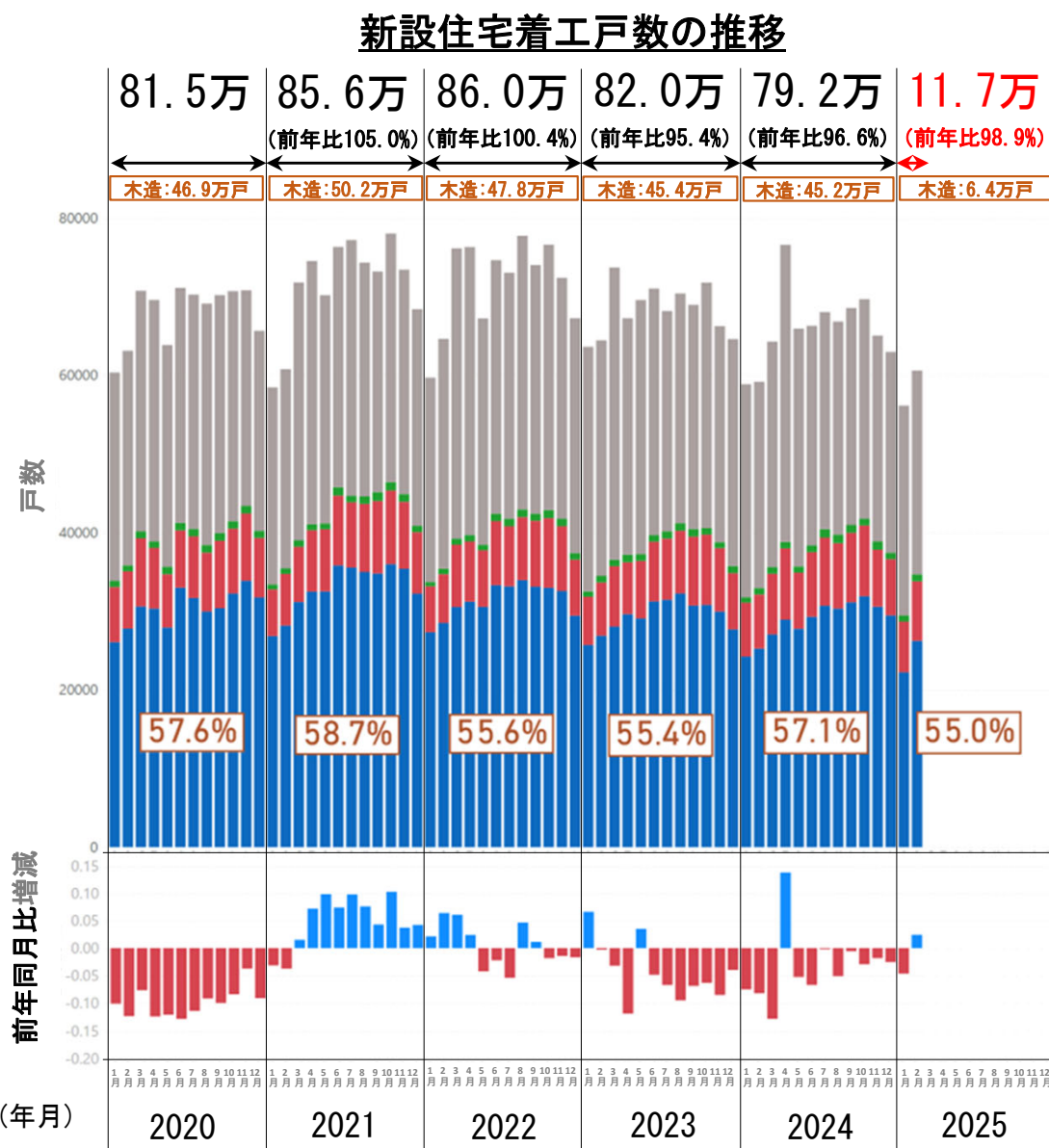


(参考)紙品種別生産高

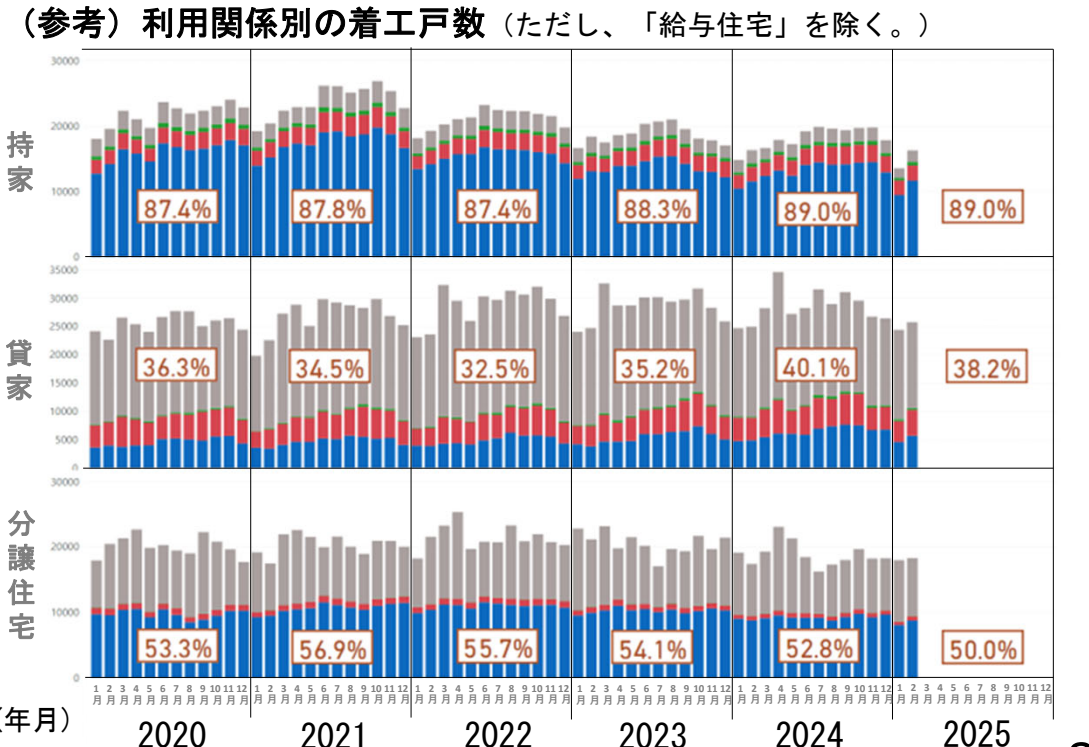


3 住宅着工戸数の動向（2020年1月～2025年2月）

- 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.4%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- 2025年2月の新設住宅着工戸数は11.7万戸（前年同期比98.9%）、このうち木造住宅は6.4万戸（同99.2%）。



構造別の着工戸数	2025年 1～2月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	116,717	118,011	98.9%	128,030	91.2%
■ 非木造	52,569	53,328	98.6%	61,031	86.1%
木造	64,148	64,683	99.2%	66,999	95.7%
■ 木造プレハブ	1,690	1,490	113.4%	1,527	110.7%
■ 2×4	14,018	13,734	102.1%	12,911	108.6%
■ 在来軸組	48,440	49,459	97.9%	52,561	92.2%
□ 木造率	55.0%	54.8%		52.3%	

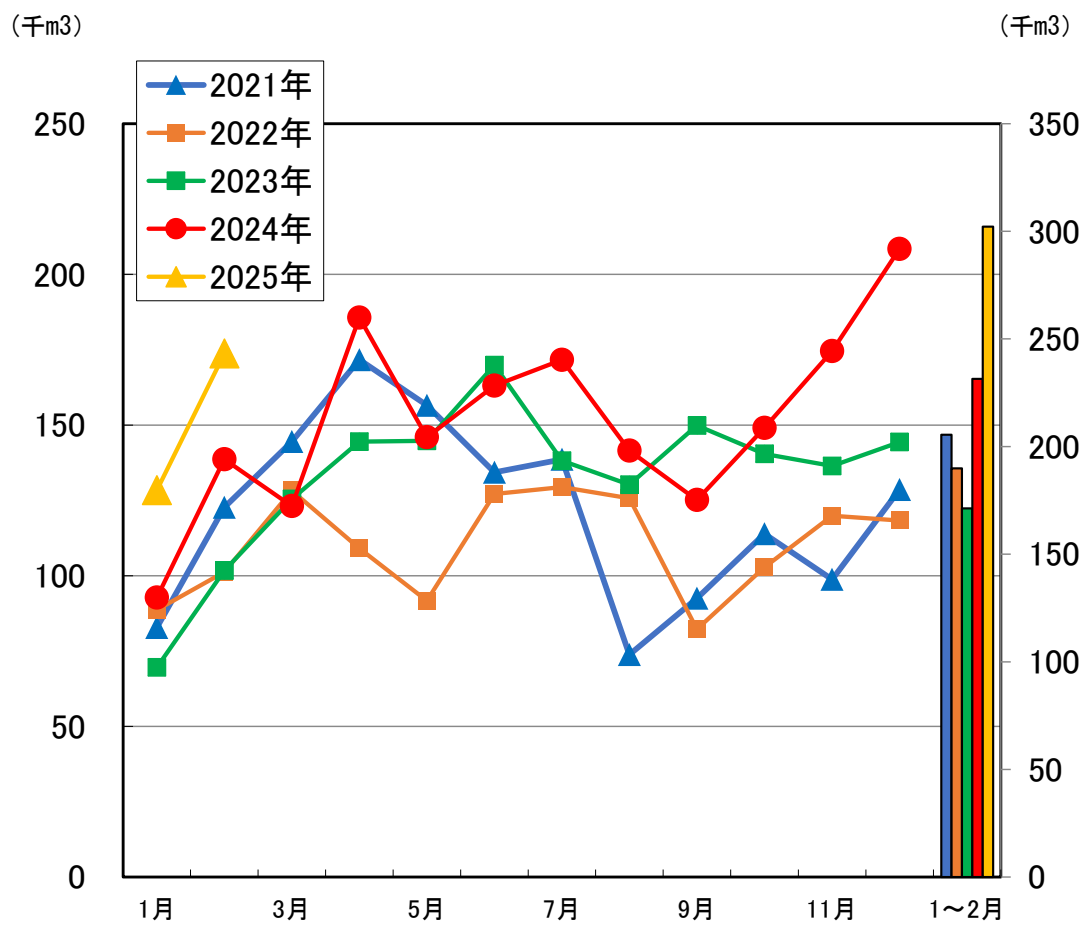


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

・ 2025年 1～2月の木材輸出量は、丸太302千m³（前年同期比131%）、製材24千m³（前年同期比135%）、合板22千m³（前年同期比153%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	2月 単月			1～2月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	160 128%	6 164%	0 221%	279 136%	9 132%	1 179%
韓国	8 110%	1 161%	0 300%	16 110%	1 139%	0 900%
台湾	5 86%	2 155%	0 —	7 64%	3 112%	0 —
米国	0 —	4 166%	0 —	0 —	7 135%	0 —
フィリピン	0 —	2 399%	10 109%	0 —	3 260%	21 152%
その他	1 95%	0 36%	0 675%	1 —	0 61%	0 207%
総計	174 125%	15 169%	10 112%	302 131%	24 135%	22 153%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m ³) 1～2月	比率 1～2月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	36.4	12.0%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	7.2	2.4%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	3.9	1.3%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	5.0	1.6%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	1.4	0.5%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	6.0	2.0%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	89.2	29.5%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	153.1	50.7%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない